

建築学科			インテリア・デザイン				
学年	第2学年	担当教員名	永田敦子				
単位数・期間		1単位	前期	週当りの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		生活の豊かさの根源としての住居に理解を深め、自分らしさを表現するためにインテリアの知識と方法を学習する。空間をコーディネートする手法としてプレゼンテーションボードを作製する。					
		釧路高専目標	C:20%,F:80%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		用意するもの:巻尺(2～3メートル) 雑誌・のり・はさみ・定規・カッターマット 日常生活の中で体感する寸法を体得する。					
到達目標		顧客満足度の高いプレゼンテーション作業が出来る知識、能力を学習し、実務に生かせる事が出来る。 プレゼンボードの作製と発表ができる。					
成績評価方法		中間、期末テスト合計の平均点数により評価。					
テキスト・参考書		(社)インテリア産業協会 生活文化とインテリア1 暮らしとインテリア。					
メッセージ		生活の中で住宅は単なる箱ではありません。 豊かな暮らしをする中で、その先にある物も考えることの出来る人間となる事が大切です。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
1. 授業ガイダンス(1回) 2. 暮らしとインテリア(1回) 3. 空間の計画1(1回) 4. 空間の計画2(1回) 5. 暮らしの計画1(1回) 6. 暮らしの計画2(1回) 7. 暮らしの計画2(1回) 8. インテリアの歴史(1回)				在学中に取得できる資格などを理解できる。 消費者問題、これからのインテリアを理解できる。 空間を造る・空間を仕上げる事を理解できる。 " 住まいの計画を理解できる。 インテリアコーディネートを理解できる。 プレゼンテーションの技術を理解できる。 茶室、床の間飾りを理解できる。			
前期中間試験				実施する			
9. 仕掛けの計画(1回) 10. 仕掛けの計画(1回) 11. プレゼンボード作成(1回) 12. プレゼンボード作成(1回) 13. インテリアと色彩計画(1回) 14. 作品発表(1回) 15. 総括(1回)				家具、収納を理解できる。 ウィンドウトリートメントを理解できる。 イメージボードを作製できる。 照明プランボードを作製できる。 色の三要素を理解できる。			
前期期末試験				実施する			
後期中間試験							
後期期末試験							